

重点 14 学校環境の改善

3 バリアフリー化

ねらい

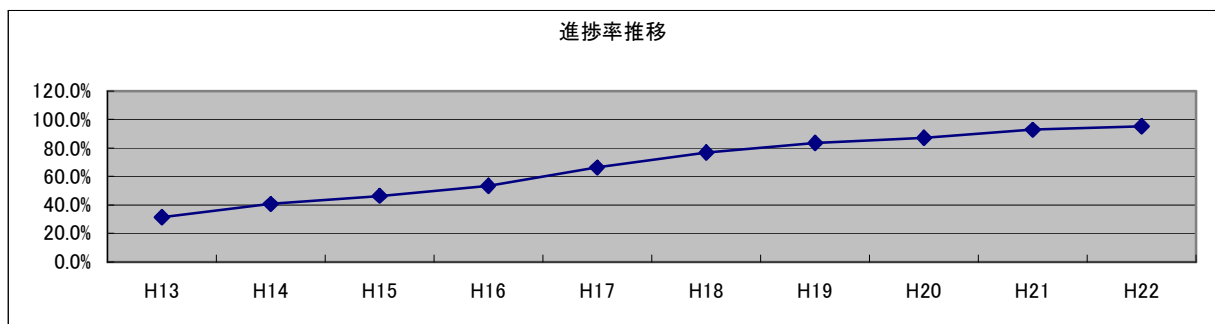
障害者、健常者がともに円滑な学校生活を送ることができるように、児童・生徒だけでなく、市民の誰もが円滑に活用できるという観点から、地域に開かれた学校づくりや、学校が非常時の拠点や避難所、選挙投票所など多用されるため、学校施設環境の改善整備を進めていきます。

現状と課題

- ・ 平成22年度は富洲原小学校、下野小学校において、バリアフリー対策として、出入口等の段差解消スロープの設置、階段・廊下の手摺の設置、身障者用トイレ改修等の整備工事を実施しました。
- ・ 併せて、必要な学校について、階段昇降機を配置しています。
- ・ 残る未整備校について、早期に整備する必要があります。

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
小学校	6	5	3	4	6	5	3	2	3	2
中学校	4	3	2	2	5	4	3	1	2	0
計	10	8	5	6	11	9	6	3	5	2
累計	27	35	40	46	57	66	72	75	80	82
進捗率	31%	41%	47%	53%	66%	77%	84%	87%	93%	95%

※進捗率は必要延べ数に対する各年度末累計数の割合



今後の方向性

- 現在、進めているバリアフリー化工事について、平成23年度に高花平小学校、楠中学校の工事を行い、計画整備の終了を目指します。
- 垂直方向のバリアフリー化については、階段昇降機を活用するとともに、改築時において給食用リフトを兼ねてエレベータを設置することや、そのスペースを確保していきます。